

「夢に向かって前進して」

フェアプレイスクール

城南中

新宮市城南中学校は22日に、新体操競技北京オリンピック代表の田中琴乃さんらを講師に招き、日本スポーツ協会が主催のフェアプレイスクールを開催。全校生徒181人は、フェアプレイについて理解を深めるとともに、事前学習でまとめた作文を発表した。

開会宣言後、田中さんが新体操を披露しながら入場。同日応援に駆けつけたAKB48チーム8永野芹佳さんも登場し、応援ムービーが上映された。

次に、内野江理さん(1年)、谷口清華さん(2年)、出会悠斗くん(3年)の作品が読まれ、「フェアプレイの精神を表し、大切にしたい」「気持ちのこもったあいさつを行う」「フェアプレイをすることを忘れず、何事にも取り組んで行きたい」と発表。

田中さんは、「礼で始まり、礼で終わる」とは、日本人にとっては当たり

前のことですが、大切なこと」と講評し、「校長室でオリンピックを見た時から、選手になることを夢見て、コツコツと練習してきましたが、思った結果が残せず、家族に感謝の気持ちを伝えることができませんでした。私の本当の夢は、オリン

ピックに出て、家族に手を振ることだったので。皆さんには、『○○になって○○したい』というこれまで考え、前に進んでほしいです」と語った。

その後、質問時間が設けられ、山本力羽副会長(3年)から、「今日は、遠いところまでありがとうございます。今日の学習を大切に、中学校生活を過ごしたいです」とお礼を述べた。

また、同日、1年生63人は、田中さんによる体験授業も実施。準備体操で体をほぐした後、バレーボールを使って、背中



ボールを使って体験授業を行う

でボールを転がしたり、高く上げて足でキックしたり、新しい遊びができて面白かった。今後は、日常でのフェアプレイを大切に、人を思いやる言葉『ありがとう』をたくさん使っていきたい」と話した。

(香川真夕)

作文を発表する生徒

